

平成28年 北海道森づくり研究成果発表会について

平成28年4月21日（木）、平成28年北海道森づくり研究成果発表会を北海道大学学術交流会館において開催しました。

今年の発表会は新たな試みとして、森林研究本部の林業試験場（森林整備部門）と林産試験場（木材利用部門）が一体となった合同開催とし、多くの参加者に対応するため、口頭発表は一般発表及び森林整備部門を講堂(2F)で、木材利用部門を小講堂(1F)で、ポスター発表及びコアタイムをホール（1F）で行いました。

口頭発表は、北海道の森林室、北海道森林管理局及び美深町など一般発表が7件、林業試験場が5件、林産試験場が7件、計19課題について発表を行いました。

ポスター発表は、一般発表が2件、森林整備部門が11件、木材利用部門が14件、計27件の展示を行いました。

発表者が個別に説明するコアタイムをポスター発表会場に昼休みと午後の2回設定し、参加者との意見交換が活発に行われ、研究成果に対する関心の高さがうかがえました。

さらに、道水産林務部森林環境局森林活用課による写真展として「活躍する森林所有者」の紹介や林業普及指導員の日頃の普及指導活動を紹介する「第31回林業普及写真展」などを同時に開催しました。

参加人数は471名で、そのうちCPD団体会員（技術者教育支援制度）の受付は93名と年々増加しており、この発表会が、国・道等の行政機関のみならず、企業や林業関係団体から研究成果の実用化に向けた期待が高いものと感じているところです。

参加者から寄せられたアンケート結果によると、合同開催について「良かった」との回答が63%、「別々の方が良い」が21%あり、良かったの理由としては「両方聞ける」が多く、別々の方が良いの理由としては「両分野をすべて聞きたい」など様々な意見をいただきました。

次回開催に向けては、アンケート結果の内容や両試験場の意向を考慮し、一層充実した発表会につながるよう検討したいと考えています。

今回の光珠内季報No.179は、当日の林業試験場関係分16件について、要旨を掲載します。それぞれの研究成果についてご一読いただき、参考にいただければ幸いです。



森林整備部門（講堂）



木材利用部門（小講堂）



ポスター発表